

【大阪】灘・伊丹の清酒各社では、新酒ができるこの時期、順次蔵開きが開催される。雪もちらつく寒風のなか、年々多くの人で賑わっている。

菊正宗酒造は7日、「2026蔵開き」を開催した。日頃の感謝を込めて、香り高いしほりたて新酒を楽しんでもらおうイベント。開始前から長蛇の列ができ、午前は入場制限しながら開場した。

嘉宝蔵の構内を一般開放して会場とした。振る舞い酒は季節限定

「生酛しほりたて新酒」を用意。

有料試飲では「榊入り樽酒」「百黙3種飲みくらべセット」が人気で早々に完売。特選は燗酒と常温で提供。「しほりたて大吟



小西酒造は8日、「白雪蔵まつり」を、白雪ブルワリービレッジ長寿蔵で開催した。阪神・淡路大震災からの復興を願って始めた催しで、第29回を迎えた。今年

は雪の舞う天候のなか、約1万人が来場。雪見酒を楽しんだ。近隣広場では「いたみ冬の元気まつり」が同時開催さ

れ、付近一体が賑わった。小西新右衛門社長（同右）は「日本とベルギーの国交樹立160周年にあたり、ベルギービールを揃えた。雪の舞う天候となり、燗酒は各温度帯を用意しているのを楽しんでもらえれば。足元や適正飲酒に気をつけながら、伊丹の街を楽しんでほしい」とあいさつ。中田慎也伊丹市長、来場者を交えて鏡開きを行った。

振る舞い酒は整理券を配布し、先着200名にはオリジナル木柙で配布。お楽

清酒各社で新酒を楽しむ蔵開き

樽づくりの実演も行った。福袋・福箱は会場での販売は行わず、ネットショップで販売する。福箱550個の数量限定。

れ、付近一体が賑わった。小西新右衛門社長（同右）は「日本とベルギーの国交樹立160周年にあたり、ベルギービールを揃えた。雪の舞う天候となり、燗酒は各温度帯を用意しているのを楽しんでもらえれば。足元や適正飲酒に気をつけながら、伊丹の街を楽しんでほしい」とあいさつ。中田慎也伊丹市長、来場者を交えて鏡開きを行った。

施した。資料館を巡るクイズラリーでは、GI伊丹や「伝統的醸造」のユネスコ登録からも出題した。

西宮市では、2月上旬から3月上旬にかけて、「西宮蔵開き2026」が開催され、市内の各蔵が順次蔵開きを行う。今回で11回目。前回は延べ2万5000人が来場した。

寶娘（大澤本家酒造）が7日、白鹿（辰馬本家酒造）が14日、徳若（万代大澤醸造）が22日、日本盛が28日、大関が3月7日に実施する。



しみ袋は今回から前売り券を販売し、会場でも手渡した。日本酒やベルギービール、クラフトビールをシヨット販売。熱燗、ぬる燗、常温を揃えた燗酒コーナーには長い列ができた。長寿蔵2階では、キックコーナーを設置し、木柙積みやぬり絵、フォトスポットなどを用意。制限時間内に積んだ枡を競う木柙積み大会も実施した。資料館を巡るクイズラリーでは、GI伊丹や「伝統的醸造」のユネスコ登録からも出題した。

「かつお節・だしライフデザインカンパニー」を目指して。

にんべんが強みとしている「鰹節専門店」。注目が集まる「だし」提案を通して、日々の食事に寄り添い、既存イメージにとらわれないかつお節やだしの利用機会を作り出していきます。かつお節・だしに強みを持つ「かつお節・だしライフデザインカンパニー」として、食に関わる生活を形作り、提案していく企業でありたいと考えます。



創業1699年
鰹節専門店



だしを味わう
スタンディングバー



かつお節とだしの
和ダイニング



四季を楽しむ
だしの弁当専門店



旬を感じる
だしの惣菜専門店

この国の味、ここから。
にんべん

<https://www.ninben.co.jp/>